

会場：愛知医科大学

テーマ：家族と支援者におけるパートナーシップ
—家族が家族になるために—

世話人：山田恭聖（愛知医科大学病院）

事務局：酒井玲子（愛知医科大学病院）

4) 関連事業

- ・第8回ぎふ周産期こころの研究会

日時：令和元年11月9日（土）

場所：岐阜大学サテライトキャンパス

テーマ：赤ちゃんとの別れ

あなたと生きた時間を慈しむ

- ・第5回近畿周産期精神保健研究会

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

日時：令和2年2月29日（土）～3月1日（日）

会場：大阪府立大学I-siteなんば

会長：隅 清彰（社会福祉法人石井記念

愛染園附属愛染橋病院 小児科）

メインテーマ：多職種で考えよう

母と子と家族の心に届く支援

- ・第1回近畿周産期こころのケア研修会

（近畿周産期精神保健研究会共催）

日時：令和2年2月29日（土）

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

- ・健やか親子21推進協議会

令和元年6月より推進協議会に入会

<審議事項>

1. 今年度の活動予定について

- 1) 令和2年度第2回理事会

11月頃オンラインで開催予定

- 2) 日本周産期精神保健研究会総会

書面審議となる可能性あり

2. 第4回日本周産期精神保健研究会（1年程度延期）

日時：令和2年10月31日（土）～11月1日（日）

会場：聖路加国際大学

会長：山中美智子

（聖路加国際病院遺伝診療部部長/女性総合診療部医長）

テーマ：「子（個）をはぐくむ多様な家族への支援」

3. 関連事業の予定

- ・ぎふ周産期こころの研究会の開催 未定
- ・第6回近畿周産期精神保健研究会（以下決まっていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、準備委員会も開かれないまま、中止と決定）

日時：令和3年2月頃

会長：佐野博之（淀川キリスト教病院 新生児科）

4. 今後の活動について

新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて検討。

研究会として現状でできる活動があればぜひご提案いただきたい。

5. その他 現会員数209名

令和2年度第2回理事会 議事録

日時：令和2年11月22日（日）14：00～15：00

開催方法：Zoom meeting

出席21名、委任状提出7名により理事会は成立とし、会議の進行をおこなった。

<報告事項>

1. 理事について

渡部晋一理事の訃報が報告され、黙祷を行った。

<審議事項>

1. 事業報告

- 1) 令和2年度日本周産期精神保健研究会総会

事務局の永田より、書面会議を予定していることが報告され、理事会の議事を踏まえて総会資料を作成し、メールで配信。2週間ほどの期日を設けて、オンラインで承認の手続きをとることが承認された。

- 2) 関連事業について

昨年度、開催の後援および助成金について承認をえて2月に開催予定であった第1回近畿周産期こころのケア研修会についてオブザーバーで川野氏に参加いただき、経緯の報告を受けた。45名定員いっぱいの参加の申し込みがあったが、直前になって中止を決めたこと、当初は6月に予定していたが、再延期になっており、現在、開催の見通しが立っていないことについて説明が行われた。研修会の開催が正式に決まってから改めて連絡をいただき、再度、理事会にて後援、助成金について承認手続きをとり対応をすることが確認された。

2. 令和3年度事業計画

- 1) 第4回日本周産期精神保健研究会

会長：山中美智子

（聖路加国際病院遺伝診療部部長/女性総合診療部医長）

テーマ：「子（個）をはぐくむ多様な家族への支援」

当初10月31日（土）、11月1日（日）の2日での開催が予定されていたが、感染状況の拡大に伴い、中止となった。1年後をめどにプログラムの内容を変更しない形で、延期開催の予定であることが、会長の山中氏より報告が行われた。会場は聖路加国際大学とするが、COVID-19の状況が見通せないこともあり、オンラインでの開催を含めて検討をしていることも報告された。

シンポジウムの先生方の予定も含めて日程を再調整し、シンポジウムについては、リアルタイムでの配信等も検討していること、詳細が決まり次第、広報を行っていく方向が確認された。

若山理事から、開催日程検討の際に関連学会研究会開催日程を確認し、重複を避けるべきではないかと意見があった。事務局で集約し、日程調整の参考にさせていただく形をとることとした。

- 2) 令和3年度日本周産期精神保健研究会総会

第4回日本周産期精神保健研究会内で行う。ただし開催方法や、期日によっては、今年度と同様の形をとることを含めて検討を行っていく。